

2006 年 04 月 11 日

数理トピックス II-2 (火曜前期 3・4 限, 2 単位)

- 講師：今野良彦 (研究室：100 年号館 10 階西側)
- オフィスアワーズ：金曜日の午後 12 時 30 分より 13 時まで (変更がある場合は講義中に知らせます)
- email: konno[at]fc.jwu.ac.jp
- ホームページ： <http://mp-w3math.jwu.ac.jp/~konno/topics-2.html>
講義録・レポート問題等はここに掲示します。
- 講義の目的：この講義では，閉区間上の連続関数には最大値は存在するという事実がどうして成り足すかを考えてみます．一見明らかな事柄に見えるが，これは本質的に実数の「連続性に関わることである．本講義では，連続という概念をすこし詳しくみて，今まで明らかにみえた事実が数学的にどのように証明されるかを考えていく．
- 授業計画：
 - － ロルの定理を見直す
 - － 実数の連続について
 - － 数列の極限の四則演算
 - － 関数の連続性について
 - － 関数の一様連続性と積分の存在
- 教科書：
 - － 瀬山士郎著：「無限と連続」の数学，東京図書
- 成績について：評価はレポート，平常点および期末試験で行う．レポートの提出先は講義中に知らせます．また，締め切り後にはレポートは受け付けないので，締め切りを厳守すること．